

平成 29 年 12 月 6 日

「うつくしまふくしま未来支援センター 仙台シンポジウム」開催

開催目的

東日本大震災発生から 7 年。福島 of 被災地において残存する資料や記録の保全と活用に取り組むさまざまな活動を紹介し、将来の大規模災害にいかに備え、活かしていくべきかについて議論します。

日 時：平成 30 年 2 月 24 日（土）13：00～17：30

会 場：東北大学 片平さくらホール
（仙台市青葉区片平 2 - 1 - 1 東北大学片平キャンパス内）

テーマ：「ほんとの空が戻る日まで
～震災の記録と教訓を残し、未来に活かす～」

【プログラム】

部 基調講演

「災害記録を未来に活かす ―古代ポンペイの調査を通じて―」
青柳 正規 氏 東京大学名誉教授（前 文化庁長官）

部 福島の現状報告

福島の現状と課題
避難所運営シミュレーション教材による取り組み
『社会力』の向上を目指した防災教育
震災関連資料の収集と保存

部 パネルディスカッション

「震災の記録と教訓を残し、未来に活かす」

- 参加対象者 一般市民、大学関係者、学生、行政職員 他
- 主催 国立大学法人福島大学、福島大学うつくしまふくしま未来支援センター
- 共催 国立大学法人東北大学
- 後援(予定) 文部科学省、復興庁、福島県、宮城県教育委員会、仙台市 他

（お問い合わせ先）

うつくしまふくしま未来支援センター事務局

電話：024-504-2865

E-mail:fure@adb.fukushima-u.ac.jp

ほんとの空が 戻る日まで

震災の記録と教訓を残し、未来に活かす

日時 2018年

2/24 13:00 ~ 17:30
土

会場 東北大学 片平さくらホール 仙台市青葉区片平2-1-1 東北大学片平キャンパス内

プログラム

I 部 基調講演 「災害記録を未来に活かすー古代ポンペイの調査を通じてー」
青柳 正規氏 東京大学名誉教授 (前 文化庁長官)

II 部 福島現状報告

「福島の現状と課題」…………… 初澤 敏生 FUREセンター長
「避難所運営 シミュレーション教材による取組み」…… 天野 和彦 FURE地域復興支援部門 特任教授
「『社会力』の向上を目指した防災教育」… 本多 環 FUREこども支援部門 特任教授
「震災関連資料の収集と保存」…………… 柳沼 賢治 FURE地域復興支援部門 特任准教授

III 部 パネルディスカッション

「震災の記録と教訓を残し、未来に活かす」

【モデレーター】 菊地 芳朗 FURE地域復興支援部門長
【パネリスト】 佐藤 大介氏 東北大学災害科学国際研究所 准教授
高木 亨氏 熊本学園大学社会福祉学部 准教授
佐藤 孝雄氏 岩手県山田町職員
瀬戸 真之 FURE地域復興支援部門 特任准教授

※FURE=福島大学うつくしまふくしま未来支援センターの略



東京大学名誉教授、前 文化庁長官

青柳 正規氏

1967年、東京大学文学部美術史学科卒業。
東京大学文学部助教授、教授、学部長、副学
長を経て2005年定年退官、国立西洋美術
館館長、独立行政法人国立美術館理事長を
併任。2013年～2016年文化庁長官

参加募集人数 **150名**

参加費
無料

事前申込みが必要です。
参加ご希望の方は裏面の参加申込方法により
2月13日〇時までにお申込み下さい。
(事前申込制 定員になり次第、締め切ります)



電車利用 ■青葉通一番町駅(仙台市地下鉄東西線)南1口より徒歩約10分 ■五橋駅(仙台市地下鉄南北線)北2・北4口より徒歩約10分 ■仙台駅(JR)西口より徒歩約15分 / バス利用 ■仙台駅前11番のりば 701系統・704系統・706系統 東北大学正門前 下車/タクシー利用 ■仙台駅西口より約10分 ※所要時間は交通状況等により異なります

参加対象者 一般市民、大学関係者、学生、行政職員 他

主催 ▶ 国立大学法人福島大学、福島大学うつくしまふくしま未来支援センター
共催 ▶ 国立大学法人東北大学

後援(予定) ▶ 文部科学省、復興庁、福島県、宮城県教育委員会、仙台市、
双葉地方町村会、公益社団法人経済同友会 他

福島大学うつくしまふくしま未来支援センター 仙台シンポジウム

開催目的

東日本大震災・原発事故から7年が経過しようとしている現在、大きく損なわれた地域固有の歴史・文化・自然とともに、震災によって発生したさまざまな物的・電磁的記録を保全し、未来に伝えていこうとする動きが次第に強まり、復興推進の大きな力になっています。本シンポジウムは、福島県の被災地において残存する資料や記録の保全と活用に取り組むさまざまな活動を紹介し、将来の大規模災害にいかに対応し、活かしていくべきかについて議論します。

プログラム

開 会	13:00～ 13:15	挨拶	
I 部	13:20～ 14:20	基調講演	「災害記録を未来に活かす ―古代ポンペイの調査を通じて―」 青柳 正規 氏 東京大学名誉教授(前 文化庁長官)
II 部	14:30～ 15:45	福島の実況報告	「福島の実況と課題」……………初澤 敏生 FUREセンター長 「避難所運営 シミュレーション教材による取り組み」……………天野 和彦 FURE地域復興支援部門 特任教授 「『社会力』の向上を目指した防災教育」……………本多 環 FURE子ども支援部門 特任教授 「震災関連資料の収集と保存」……………柳沼 賢治 FURE地域復興支援部門 特任准教授
III 部	16:00～ 17:25	パネル ディスカッション	「震災の記録と教訓を残し、未来に活かす」 [モデレーター] ■菊地 芳朗 FURE地域復興支援部門長 [パネリスト] ■佐藤 大介氏 東北大学災害科学国際研究所 准教授 ■高木 亨氏 熊本学園大学社会福祉学部 准教授 ■佐藤 孝雄氏 岩手県山田町職員 ■瀬戸 真之 FURE地域復興支援部門 特任准教授
閉 会	17:25～ 17:30	挨拶	

※FURE=福島大学うつくしまふくしま未来支援センターの略

ほんとの空が戻る日まで 参加申込書

2月13日(火)までに

いずれかの方法によりお申し込みください。

福島大学うつくしまふくしま未来支援センター

FAX.024-504-2865

mail▶fure@adb.fukushima-u.ac.jp

web専用参加申込フォーム

https://ws.formzu.net/fgen/S49345558/



氏 名 (フリガナ)	勤務先・学校 等	電話番号
(FAXでお申し込みの方)返信用FAX番号		

お問い合わせ先 | 福島大学うつくしまふくしま未来支援センター TEL.024-504-2865

未来支援センター

検索